

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.3.1

2年生3月号

来年度上伊那地区就職希望者 激増！



2年生を対象とした進路の面談もあと数人で終わろうとしています。就職希望者は少しは進路に向けての意識が高まったでしょうか？

先日上伊那地区の高校の進路担当者の会議が行われ、その際来年度の各学校の就職希望者の情報交換をしました。それによると来年この地域の高校生の就職希望者が今年より60～70人増えそうです(内本校で30人弱)。今年3年生の就職状況は本校においても大変厳しかったのですが、この厳しい状況の中で来年これだけ就職希望者が増えれば本当に大変になります。就職希望者が増えた分求人が増えれば問題ないのですが、それはあまり期待できないような気がします。

2年生の就職希望者は、今年以上に厳しさが予想される来年度の就職戦線にどう対応するか、よほど真剣に考えないと、来年の卒業式に就職の決まらない生徒が激増する可能性があります。如何に就職希望者が多くても、要は他校の生徒に勝てる実力さえ持っていれば心配はありません。基礎学力を確実に付け、来年の就職戦線に無事勝ち抜けることを祈りたいものです。



大学か専門学校か？

進学希望者にとって、大学もしくは短大へ進学するか、専門学校へ進学するかまづ最初にぶつかる疑問でしょう。一般論からいえば大学は教養もしくは学問分野を極める学校であるのに対して、専門学校は、職業に密着した勉強に主眼を置いたものです。従って、専門学校では将来の職業に密着した資格を取れば、就職はしやすくなるでしょう。最近大学進学者の就職難がいわれていますが、専門学校では就職という観点だけで考えると大学へ進学するより就職はしやすいかもしれません。

但し、最近では大学や短大においても職業に密着した資格取得をめざす学科も出ています。そのために一概に就職するには専門学校が有利とは言えない面もあります。授業料の点では若干専門学校の方が割安でもあります。

最近では大学も入りやすいところも多くありますが、専門学校は一般的には受付順、大学はある程度の学力を見られます。また大学へ行くか専門学校へ行くかは一面個人の価値観に関わる問題でもあります。その意味では親等にもよく相談しつつ決めて下さい。いずれを選ぶにしても、必ず学校見学やオープンキャンパス等に参加して、学校の様子を見てくることも大切です。但し一校だけではなく、複数の学校を見比べることも大切です。

要は自分がやりたい分野がどこにあるかがまず選択の分かれ目でしょう。特に専門学校へ行く場合は将来の職業と直結しているだけに、その選択肢を誤ると後で後悔することになりますのでくれぐれも慎重に考えましょう。